



国縫トンネル貫通地点の写真。本トンネルは専用の機械で掘削を進めた。

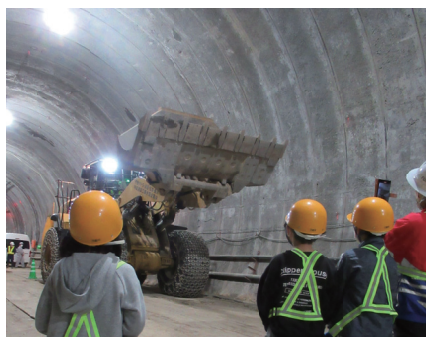
新幹線を つくる

Vol.19

鉄道・運輸機構は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



長万部町内で 初のトンネル貫通



親子見学会では、巨大な重機に子どもたちが興味津々。



親子見学会の最後には、掘削証明書を手にみんなで記念撮影！

JRTTは、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）整備事業の建設主体として、二〇一四年より順次トンネル工事に着手し、全十七本のトンネル工事を進めています。

今年一〇月十三日には、長万部町内で国縫トンネル（延長一三四〇メートル）が貫通しました。工事を監督する竹村長万部鉄道建設所長は「国縫トンネルは、営業中の高速道路と交差する区間を掘削するなど、難易度の高い

工事となりました。その工事に最初から携わることができ、誇りに思っています。貫通時、トンネルの中に光が差し込む幻想的な光景を見たときは、今までの苦勞が報われ、大きなやりがいと達成感でいっぱいになりました」と、貫通の喜びを語ってくれました。

全十七本のトンネルのうち、掘削が完了したトンネルはこれで五本目。長万部町内では初のトンネル貫通となりました。JRTTでは、引き続き安全に留意し、工事を進めていく方針です。

JRTTと長万部町の共同主催にて行われたこのイベントには、五組十名の親子が参加し、実際にトンネル工事の現場を見学。参加した子どもたちからは「見たこともない重機があって面白かった！」「貴重な体験ができて楽しかった！」などの声が上がりました。参加者にとって思い出に残る一日となりました。

工事現場見学を通じて、北海道新幹線札幌延伸事業への理解を深めてもらおうと、貫通直前の国縫トンネルで「親子で参加！トンネルはどうやってつくるの？」と題した現場見学会を一〇月八日に実施しました。

国縫トンネルで 「親子見学会」を実施

長万部町内の工事を監督しています！



JRTT北海道新幹線建設局
長万部鉄道建設所長
竹村和晃さん